

小学生による
まちの **防災・防犯・交通安全** を
テーマとしたマップづくり



ぼうさい探検隊

〈実施マニュアル〉

「ぼうさい探検隊」って何？

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラムです。

防災・防犯・交通安全教育に役立ちます！

昨今、多くの自然災害が発生するとともに、子どもが被害者となる犯罪・事故も増加しています。地域の安全・安心が脅かされている中、「ぼうさい探検隊」は、防災への意識を高めて災害への備えを認識するだけでなく、子どもの防犯・交通安全教育にも役立ちます。

ぼうさい探検隊の効果

- ①子どもの防災・防犯等安全意識が向上します。
- ➡楽しみながらまちを探検することで、自主的に災害への備えや身近な危険について考え、気づくことができます。
- ②探検をしながら地域への関心・愛着が生まれます。
- ➡地域の人たちとの交流によって地域への関心や愛着が生まれ、「地域コミュニティ」も強化されます。



こんなときに ぴったり！

- ・小学校の授業
- ・子ども会の防災訓練
- ・ボーイスカウト、
ガールスカウトでの
野外活動 等

マップコンクールに 応募しよう！

参加したすべての子どもたちに参加賞が、優秀作品には文部科学大臣賞等が贈呈されます。

▼応募要項▼

損保協会
ホームページ

<http://www.sonpo.or.jp>

「ぼうさい探検隊」のプログラム

1 まちなか探検

子どもたちの視点でまちを探検して、防災・防犯・交通安全に関する様々な施設や設備を発見します。



2 マップの作成

街区地図などを用いて発見したこと、気づいたことを模造紙に記入、整理していきます。



3 発表

マップができあがったら、自分たちで発見したことや気づいた点などについて発表します。



当日までの主な準備

① 開催日時やテーマを決定

- ・ まちなか探検の開催日時を設定します。
- ・ 防災や防犯、交通安全を基本に地域の特性にあったテーマを設定し、チェックポイントを決めます。右ページを参考にしてください。

② 事前学習、まち歩きコース等を決定

- ・ 探検する地域の下見を行い、交通量が多い所や危険な所を事前にチェックして子どもの安全を確保します。
P4 を参考に、マップを作る際のイメージをもっておくと、さらにスムーズです。

③ 当日使用する物品・資料を準備

- ・ 街区地図やワークシートなど当日使用する物品や資料を準備します。
P5 「準備しておくもの」をご参照ください。

④ ぼうさい探検隊を実施

- ・ 避難所までのルートや通学路など自分たちの住んでいるまちを探検します。P6～7 を参考にしてください。

※ その他準備しておくこと

・ 引率者の確保

交通安全および事故・ケガ防止の観点から、まちなか探検の際には、保護者やボランティアの方など、必ず大人が同行して引率するようにしてください。

・ 消防・警察等関係団体への連絡

まちなか探検の際に、消防署、交番などでインタビューなどを行うとより理解が深まります。

・ ケガ等に備えて保険への加入を忘れずに

万が一の事故やケガに備えて、傷害保険などの手当ては充分か、確認しておきましょう。

(詳しくは最寄りの損害保険代理店または保険会社にご確認ください。)

まちなか探検のテーマやチェックポイントの例

防災・防犯・交通安全など、まちなか探検のテーマごとにチェックポイントを設定すると効果的です。以下のようなテーマ・チェックポイント例を参考に、地域の実情に合った内容で実施しましょう。

それぞれの設備や施設について、「安全か、それとも危険か、みんなで考えてみよう」というように子どもたち自身にも考えてもらおうと、より高い学習効果が期待できます。

もちろん、全てのチェックポイントを盛り込む必要はありません。あまり欲張りすぎずに、まずはテーマごとに3～5つの要素を選んでみるとよいでしょう。

損保協会ホームページ上に、テーマごとにチェックポイントや指導時のアドバイス例をより詳しく掲載しています。こちらをあわせて参考にしてください。

<http://www.sonpo.or.jp/efforts/reduction/bousai/index.html>

防災をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 消火器・AED
- 消火栓・送水口
- 防火水槽・消防水利
- 電話ボックス

【施設】

- 避難場所
- 防災備蓄倉庫
- 消防署
- 病院

【その他】

- 自動販売機
- コンビニエンスストア
- 地域特有の危険
- 地域の防災対策
- 地域の災害史
- など

防犯をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 防犯の看板
- 防犯カメラ
- 街灯
- 電話ボックス

【施設】

- 子ども110番の家
- 交番・警察署
- 駐車場
- 公園・空き地

【その他】

- コンビニエンスストア
- 人通りの少ない道・暗い道
- 高い塀や物陰のあるところ
- 地域の状況（不審者情報など）
- 地域の防犯対策
- など

交通安全をテーマにする場合の チェックポイント例

【設備】

- 横断歩道・歩道橋
- ガードレール・歩道
- 信号機・標識
- 電話ボックス

【施設】

- 駐車場・駐輪場
- 交番・警察署
- 消防署
- 病院

【その他】

- 自転車の安全な乗り方
- 交通量の多いところ
- 地域特有の危険
- 地域の交通安全対策
- など

そのほかのテーマで実施する場合の チェックポイント例

● バリアフリー・高齢者などへの対策

- バリアフリーの場所
- 高齢者のケアや対策
- 地域独自の対策

● 環境問題

- 環境変化の影響
- 未来に向けたまちづくり

● 地域の再発見

- 地域の良いところ探し
- 住みよいまちづくり
- など

マップのイメージ〈例〉

チーム名を書きます

街区地図をはりつけ、チェックポイントにしるしをつけます

とってきた写真をはります



メンバーの名前を書きます

気づいたことや感想を書きます

さがしたチェックポイントや道順を書きます

マップがこのように役立っています!

●危険箇所や施設が改善

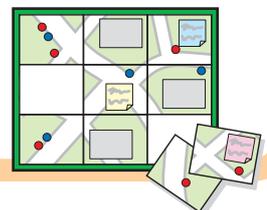
「ぼうさい探検隊」を通じて子どもたちが気づいた点を自治体に提案したところ、実際に壊れかけた塀などが改善されました。

●地域の広報誌に掲載

学校での展示だけでなく、作成したマップを縮小して地域に配布したり、自治体の広報誌にとりあげられるなど広く地域の皆さんにまちの安全意識を呼びかけています。

●パズルにして楽しく勉強

でき上がったマップをパズルにして楽しく勉強するなど、探検後も地域への関心や安全意識を持ち続けています。



準備しておくもの

☆まちなか探検・マップ作成に必要な備品の参考例

例として、8人で実施する場合に準備しておくよい内容は以下のとおりです。

このうち、★がついている備品の一部は、無償でご提供している「実施キット」に含まれていますので、ご活用ください。

まちなか探検に必要なもの	数
持ち歩き用の街区地図（A4サイズ程度）	8
画板・クリップボード	8
鉛筆・消しゴム	各4～8
説明用資料（注意事項やスケジュールなど）	8
ワークシート（必要に応じて）	8
チェックポイント確認用マークシール（★）	1
デジタルカメラ（インスタントカメラなどでも可）	1

マップ作成に必要なもの	数
マップに貼るための街区地図（A3サイズ程度）	1
まちなか探検の際に撮影した写真（なくても可）	適量
鉛筆・消しゴム	各4～8
マジック・カラーサインペン（★）	各4～8
マークシール（数種類、★）	1
ふせん紙（★）	各1
模造紙（★）	1
下敷き用の新聞紙	適量
はさみ	2～3
のり	2～3
セロテープ	1～2

〈実施キット〉



「実施キット」の内容

作成されたマップを「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」にご応募いただくことを条件に、このような「実施キット」を無償でご提供しています。マップの応募予定数に応じて、必要なキット数をお申し込みください。（例：小学生20人で4枚のマップを作成予定の場合 → 「実施キット」4セット希望、とお申し込みください。）

☆ワークシート例やささまざまなツール

まちなか探検の際、次のようなワークシートを作成しておく、より理解が深まります。

ぼうさい探検隊ワークシート

_____ 年 月 日

グループ名: _____
名前: _____

チェックポイント1

小学校の備蓄倉庫にはどんなものが保管してあるか調べて、記入しましょう。

チェックポイント2

消防署の人にインタビューしてみましょう。

Q 消防署では毎日どんなお仕事をしていますか。

Q わたしたちのまちではどんな事故や災害が多いのですか。

Q 事故や災害にあわないためには、どんなことに注意すればよいですか。

Q その他

◎探検して気づいたことや発見したことを書いてください。

さまざまなツール

体験で使用する、シールやワークシートなどは、損保協会のホームページからPDFファイルをダウンロードできます。

<<http://www.sonpo.or.jp/news/publish/bousai/0009.html>>



「ぼうさい探検隊」の実施スケジュール例

半日で実施する場合と、1日かけて実施する場合のスケジュール・時間配分の例は以下のとおりです。参加する児童の学年や人数などを考慮しながら、子どもも大人も無理なく・楽しく実施できるよう、工夫をしてみましょう。

損保協会ホームページ上に、実施する場合の事前準備や時間配分・進め方の例をより詳しく掲載しています。こちらをあわせて参考にしてください。

<http://www.sonpo.or.jp/efforts/reduction/bousai/index.html>

●半日で実施(4時間程度)する場合の時間配分・進め方の例

- 「防災」「防犯」「交通安全」「そのほか」のテーマの中から、1つまたは2つのテーマに絞って実施すると、子ども・大人ともに負担が少ないと思われます。
- 時間が限られている場合は、チェックポイントの要素も少なめ(3～5つ)にしておくほうがスムーズに進みます。インタビューなどを盛り込むと時間が足りなくなる場合もありますので、時間配分は念入りに確認しておきましょう。

当日の進め方の例 (13:00に集合して、17:00に解散するとした場合)

<p>13:00～13:20 チーム分け・ 作戦会議</p>	<p>チームに分かれて、以下のような内容を話し合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか探検のテーマとルートの確認 ・各自の役割分担、チームの名前 ・まちなか探検で気をつけること など 	
<p>13:20～14:10 まちなか探検</p>	<p>大人と一緒にまちなか探検をします。以下のような点に留意しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの歩くペースにあわせて、無理に急がせない ・時間が足りなくなったら、途中で引き返すなど柔軟に対応する ・子どもたちが気づいたこと・思ったことを尊重する ・できるだけ怒ったりせずに、子どもたちの自発的な気づきを引き出す など 	
<p>14:10～14:20 休憩など</p>	<p>デジタルカメラからの印刷なども行っておきます。</p>	
<p>14:20～16:30 マップ作成</p>	<p>マップ作成では、以下のような手順を進めるとスムーズに進む場合が多いようです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マップを縦型・横型のどちらにするか、地図をどこに貼るかを定める ②チーム名と参加児童の名前をどこに入れるかを定める ③まちなか探検の役割分担をもとに、作業を行う <p>指導する際には、以下のような点に留意しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人は「指示は出すが、なるべく手は動かさない」よう心がける ・子どもたちの気づきや感想を尊重し、大人の感覚を押し付けない など 	
<p>16:30～16:55 発表</p>	<p>できあがったマップをもとに、チームごとに発表します。以下のような点に留意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づきや感想が第三者にも伝わるように話す ・他のチームの発表をきちんと聞く など 	
<p>16:55～17:00 まとめ</p>	<p>最後に、指導者や大人の方々から、参加した全員をねぎらうような言葉をかけてあげましょう。全員が楽しんで事故やケガがなく終了できていれば、それだけでも大成功です。</p>	

実施の際に心がけていただきたいこと

- 個人情報（表札や車のナンバープレートも含む）や人権・肖像権にも留意するとともに、個人宅の災害対策を非難したり、不審者と決め付けて個人攻撃したり、事故や犯罪の被害者の気持ちを逆なでしたりすることのないよう、十分に配慮してください。
- まちなか探検の際は、交通事故やケガのないよう、特に注意しましょう。

●1日かけて実施(7時間程度)する場合の時間配分・進め方の例

- 「防災」「防犯」「交通安全」「そのほか」のテーマの中から、1～3つのテーマを選んで実施するとよいでしょう。1つのテーマを掘り下げるのもよいですし、複数テーマで幅広く調べるのもよいですね。
- まちなか探検の際にインタビューなどを盛り込む場合は、インタビューされる側の方のお仕事などに支障が出ないように、入念に打ち合わせを行っておきましょう。

当日の進め方の例（10：00に集合して、17：00に解散するとした場合）

<p>10：00～10：30 チーム分け・ 作戦会議</p>	<p>チームに分かれて、以下のような内容を話し合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか探検のテーマとルートの確認 ・各自の役割分担 ・チームの名前 ・インタビューをする場合は、質問者と項目 ・まちなか探検で気をつけること など 	
<p>10：30～12：00 まちなか探検</p>	<p>大人と一緒にまちなか探検をします。以下のような点に留意しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの歩くペースにあわせて、無理に急がせない ・時間が足りなくなったら、途中で引き返すなど柔軟に対応する ・インタビューを入れる場合は、時間配分に気をつける ・子どもたちが気づいたこと・思ったことを尊重する ・できるだけ怒ったりせずに、子どもたちの自発的な気づきを引き出す など 	
<p>12：00～13：00 昼食・休憩</p>	<p>防災をテーマに実施する場合は、非常食体験などを盛り込むのもよいでしょう。デジタルカメラからの印刷なども行っておきます。</p>	
<p>13：00～16：00 マップ作成</p>	<p>マップ作成では、以下のような手順で進めるとスムーズに進む場合が多いようです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マップを縦型・横型のどちらにするか、地図をどこに貼るかを定める ②チーム名と参加児童の名前をどこに入れるかを定める ③まちなか探検の役割分担をもとに、作業を行う ④インタビューした内容は、大人も協力してまとめてあげる <p>指導する際には、以下のような点に留意しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人は「指示は出すが、なるべく手は動かさない」よう心がける ・子どもたちの気づきや感想を尊重し、大人の感覚を押し付けない など 	
<p>16：00～16：30 マップ仕上げ・ 発表準備</p>	<p>作ったマップを「他の人に見てもらおう、気づいたことを伝えよう」という視点で仕上げてみましょう。発表に備えて、練習をするのもよいでしょう。</p>	
<p>16：30～16：55 発表</p>	<p>できあがったマップをもとに、チームごとに発表します。以下のような点に留意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づきや感想が第三者にも伝わるように話す ・他のチームの発表をきちんと聞く など 	
<p>16：55～17：00 まとめ</p>	<p>最後に、指導者や大人の方々から、参加した全員をねぎらうような言葉をかけてあげましょう。全員が楽しんで事故やケガがなく終了できていれば、それだけでも大成功です。</p>	

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」について

日本損害保険協会では、「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を実施しています。小学生が作成した防災・防犯・交通安全に関するマップをぜひご応募ください。

応募方法

「参加申込書」(損保協会のホームページ<<http://www.sonpo.or.jp/>>からダウンロードできます)に必要な事項を記入し、ファックスまたはEメールで下記の事務局あてにお送りください。

参加申込専用ページ<<https://edp-entry.jp/>>から申し込むこともできます。

募集期限

11月上旬～中旬

※ 年度によってしめ切り日は前後します。

※ 年間を通じてご応募を受け付けますが、期限後にご応募いただいたマップは次回の選考の対象とさせていただきます。

※ 詳しい期日は、損保協会のホームページをご覧ください。

各賞

特に優れた作品については、文部科学大臣賞、防災担当大臣賞、消防庁長官賞などを贈呈します。

参加特典

マップの作成に必要な文房具や模造紙をセットにした「実施キット」などを無償でご提供します。

また、ご応募いただいたマップの作成に参加された小学生全員に参加賞を贈呈します。

その他

ご応募いただいたマップは、表彰式終了後、参加賞と一緒にご返却いたします。

なお、ぼうさい探検隊の実施にあたっては、ケガなどに備え保険の手当てをしておくなど安全に留意して行ってください。

※ 詳細は、損保協会のホームページをご覧ください。

「ぼうさい探検隊マップコンクール」事務局

TEL:03-6822-9355 (平日 10:00 ~ 18:00) FAX:03-6822-9373

E-Mail : info@edp-entry.jp

一般社団法人 日本損害保険協会

〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町 2-9

<http://www.sonpo.or.jp/>

(業務企画部啓発・教育グループ TEL 03-3255-1215 FAX 03-3255-1236)

あいおいニッセイ同和損保 アイペット損保 アクサ損保 アニコム損保 イーデザイン損保 A I G 損保
エイチ・エス損保 S B I 損保 a u 損保 共栄火災 ジェイアイ セコム損害保険
セゾン自動車火災 ソニー損保 損保ジャパン日本興亜 そんぼ 24 大同火災 東京海上日動
トーア再保険 日新火災 日本地震 日立キャピタル損保 ペット&ファミリー損保 三井住友海上
三井ダイレクト損保 明治安田損保 楽天損保 (50音順) 2019年4月現在

損害保険は、私たちを取りまくさまざまな事故や災害から生命や財産を守るための合理的な防衛策のひとつで、ご契約者の皆様に「安心」をお届けしています。